NEWS RELEASE

2026 年 5 月 27 日
株式会社マーキュリアホールディングス
（コード番号：7347 東証プライム）

「マーキュリア・サプライチェーン投資事業有限責任組合」募集完了のお知らせ

愛知海運株式会社の参画をもって、総額 30 億円で募集完了

株式会社マーキュリアホールディングスの中核会社である株式会社マーキュリアインベストメントは、LP 投資家と密に連携し、日本の物流・サプライチェーン領域の課題解決を目指すベンチャー企業等への支援を行うことを目的とした、「マーキュリア・サプライチェーン投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」）を 2024 年 4 月に組成しました。＊このたび、本ファンドに愛知海運株式会社が LP 投資家として新たに参画し、総額 30 億円で募集を完了したことをお知らせいたします。なお、本ファンドは組成以来、既に 9 社への投資を実行しています。

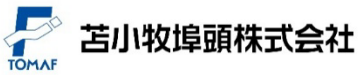
本ファンドは、物流・サプライチェーン領域の課題解決に資する革新的な技術・ビジネスモデルを有するベンチャー企業、大手企業からのスピンアウト、JV 等（以下、総称して「投資対象企業等」）を投資対象とし、投資による資金面での成長支援に加え、投資対象企業等と LP 投資家との連携・協業の促進を通じて事業面での成長支援も行うことが最大の特徴です。

また、LP 投資家に対しては、投資対象企業等との連携・協業機会の提供を通じて DX や新規事業開発等に寄与し、投資対象企業等に対しては、特定の事業会社の色に偏らない形での資金・事業の両面で成長に貢献することにより、物流・サプライチェーンの課題解決に資するプラットフォームとなることを目指しています。

本ファンドには、アンカー投資家である株式会社日本政策投資銀行が参画し、物流・サプライチェーン領域に知見を有する事業会社のみで LP 投資家が構成されている点において、日本のベンチャーキャピタルファンドとして極めて稀有な存在です。各 LP 投資家は単なる出資者にとどまらず、投資先企業との協業パートナーとしての役割を担うことで、資金面・事業面の双方から投資先の成長を後押しする独自のバリューアップモデルを実現しています。

＊ファンド組成時のプレスリリース：https://ssl4.eir-parts.net/doc/7347/tdnet/2428411/00.pdf

＜本ファンドに参画した LP 投資家＞



＜本ファンドの投資先企業＞

【本ファンドの概要】

名称	：マーキュリア・サプライチェーン投資事業有限責任組合
組成日	：2024 年 4 月 26 日
ファンド規模	：30 億円
無限責任組合員	：株式会社マーキュリアインベストメント
有限責任組合員 (5 月 27 日時点)	：株式会社日本政策投資銀行、山九株式会社、三菱倉庫株式会社、 ＪＡ三井リース株式会社、株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス、 苫小牧埠頭株式会社、栗林商船株式会社、センコー株式会社、愛知海運株式会社、 株式会社マーキュリアホールディングス

【株式会社マーキュリアインベストメントの概要】

会社名	：株式会社マーキュリアインベストメント
本社所在地	：東京都千代田区内幸町 1 丁目 3 番 3 号　内幸町ダイビル
代表者	：代表取締役　豊島　俊弘
事業内容	：投資助言業、投資運用業、第二種金融商品取引業
Web サイト	：https://mercuria-ventures.com/　（ベンチャー投資戦略）

私たちは「ファンドの力で、日本の今を変える」をミッションとし、事業を行っています。

※本リリースに関するお問い合わせ先
株式会社マーキュリアホールディングス
事業企画部

Mail	：info@mercuria-hd.jp
Web サイト	：https://www.mercuria.jp/